

再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム  
(幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム)  
研究開発課題評価(令和6年度実施)  
事後評価結果報告書

研究開発課題名	ヒト造血幹/前駆細胞の細胞系譜の理解による細胞分化制御基盤技術の開発
代表機関名	京都大学
研究開発代表者名	山本 玲

【評価コメント】

シングルセル遺伝子発現・エンハンサー発現解析法を開発し、造血幹細胞の基盤となるデータを取得し、細胞系譜追跡実験系を確立した。バーコードシステムを導入したヒト臍帯血・骨髄由来幹細胞/前駆細胞を免疫不全マウスに移植して、生体内分化動態を評価し、マーカー候補の同定に成功した点は評価できる。一方、得られた膨大なデータの解析・検証がまだ途上にあり、今後、有用性を示せるよう戦略的に検証を進め、造血幹細胞特異的エンハンサーなどの生物学的意義の理解を深めて、研究成果の知財取得や論文報告を推進することが期待される。